

昭和二十四年六月一日
大正五年四月六日第三種郵便物認可
昭和三十五年十月二十五日印刷
（毎月一回一日発行）

哲學研究

第三十四卷 第四冊

第三百九十七號

昭和二十五年十一月一日發行

善の意味……………田中美知太郎

歴史哲學の問題(完)……………大西女太

アリストテレスに於ける
知性の構造(承前)……………安藤孝行

ハイデッガーの近著(山内得立)

京都大學文學部内
京都哲學會

といへるのであつて、イエス・キリストはこのエグジステンツの徹底において自由の純粹活動の歴史を作るのが民族の現實の課題であることを示し民族の愛に高鳴れる血の心臓において一切の問題を解決すべきを教へる。

さて私は以上でカントの神の理念の自由の理念への辯證法的先驗演繹の純粹活動から極く簡單に歴史哲學及びその問題について瞥見した。これから進んでいよ／＼この論文の初めに掲げた歴史主義及び歴史哲學などの問題を詳細に論ずべき順序になつてきたといへるが、この論文で論ずべき本質の問題は大體すでに論じたから、これまでと違つて説明は容易くなるが相當長いものになる豫想である。したがつて一個の著述ともすべきものであつて、本誌のやうな研究誌に載せることは最早その必要のないものになつてきた。大體如何なる問題を如何に論ずべきかは以上述べたところで明かなところであるから、私は本誌では一旦これで切りあげて餘は著述のつもりで研究をつゞけるやうにしたいと思ふ。なほ私はかういふ歴史哲學から如何なる國家が作られるかといふことに深き關心をもち、失なはれた原稿眞實の日本」と共に孔子の作る支那についても研究してきたが、これについても發表は別の機會に譲ることとする。(完)

日本學術會議會員候補者推薦の件

日本學術會議の第二回會員選舉に當り、本會は委員會の議により、

京大文學教授 矢田部 達郎君

東北大文學部教授 三宅 剛一君

を適任と認めて推薦致しますから、御支援願ひます。

會員各位

京都哲學會委員一同

よつて最もよきことがあるのであらうと自ら考へつゝ之等のことをなすことになる。かくして目的の希求は自ら探つたのではなく、ひとはそれによつてよく判断し眞の意味での善なるものを探る様ないはゞ視力を持つてゐる如く生れつかねばならぬ。そしてこのものがよく生れついてゐる人が生れつきよき人であることとなる。」

一一三 Eth. Nich. P. 7. 1114b 29f. P. 3. 1111a 29f. P. 1. 1110b 9f. Eth. Eud. B. 7. 1223a 21f. 『アリストテレーヌに於ける靈魂諸部分の聯關』第十節參照。

執 筆 者 紹 介

田中美知太郎	京都大學文學部(哲學史)教授 文學博士
大西友太	元橫濱工業專門(倫理學)教授 學校
安藤孝行	金澤大學法文學部(哲學)助教授
山内得立	京都大學文學部(哲學)教授 文學博士

前 號 目 次

ヘーゲルの藝術史論……………	植田 壽藏
アリストテレーヌに於ける……… 知性の構造(承前)	安藤 孝行
陳那教學の課題(完)……………	武邑 尙邦
載後に於ける倫理學の諸傾向(島 芳夫)	

會 告

- 一、本會へ入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛に規定の會費をお拂込下さい
- 「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」
- 一、前金切れの場合は帶封に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい
- 一、會員の轉居入退會等(編集事務以外は一切)の事務は弘文堂内京都哲學會係へ御通知下さい
- 一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等はすべて本會宛にお送り下さい

京都大學
文學部内
京都哲學會

註 文 規 定

- 一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい
- 一、本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にてお送り下さい
- 一、特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

昭和二十五年十月廿五日印刷
昭和二十五年十一月一日發行

編 集 人 京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

右 代 表 者

發 行 人 三 村 勉
酒 井 明

印 刷 人 鈴 鹿 幸 保
京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

印 刷 所 弘 文 堂 印 刷 部
京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

發 行 所 株 式 弘 文 堂
東 京 都 千 代 田 神 田 駿 河 盛 四 ノ 四

定 價		冊 數	定 價	郵 税
一	冊	四十五圓	金三	圓
六册(前金)		二百七十圓	金十八圓	
十三册(前金)		五百四十圓	金三十六圓	

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に結算いたします)

大正五年四月六日
昭和二十五年十月廿五日印刷
（一月一回發行）

THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XXXIV

November, 1950

No. 4

- Meaning of the Good*.....Michitaro Tanaka
A Problem Concerning the Philosophy of History.....Tomoda Onishi
Aristotle's Concept of the Intellect.....Takatsura Ando
Book Review:
Recent Works of M. Heidegger.....Tokuryu Yamauchi

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定
價
金
四
十
五
圓